



「身近な法律ハンドブック」の多言語化事業

全国青年司法書士協議会発行の「身近な法律ハンドブック」の「やさしい日本語版」と「英語版」を2019年度に発行しましたが、2020年度は全国青年司法書士協議会と湖南ロータリークラブ、湖南省国際協会、そしてKIFAとの共同事業で「ベトナム語版」「ポルトガル語版」「スペイン語版」の発行しました。2020年12月6日(日)に贈呈式を開催し、滋賀県と滋賀県国際協会に各言語の法律ハンドブックを贈呈しました。

2019年度に全国青年司法書士協議会と草津市国際交流協会が協力して、「身近な法律ハンドブック」の「やさしい日本語版」と「英語版」を発行しました。今年度(2020年度)は、全国青年司法書士協議会、湖南ロータリークラブ、湖南省国際協会と草津市国際交流協会の協働でその適用範囲を広げるための多言語化を計画しました。対象言語を選定するにあたっては、事前の4者の打ち合わせにより滋賀県内での需要が多い「ポルトガル語」「ベトナム語」「ス

페인語」の3言語を決定しました。各言語への翻訳に関しては、両協会が協議して「ポルトガル語」「スペイン語」は湖南省国際協会が、「ベトナム語」は草津市国際交流協会が担当しました。各担当者の努力で、9月には翻訳も完成し、製本印刷作業も11月には完成しました。湖南省が12月6日に開催された「湖南省うちなる国際化フォーラム」で、完成した冊子を県下の関係者に幅広く広めていただくために、滋賀県国際課、滋賀県国際協会に対して、「ポルトガル語版」



「スペイン語版」「ベトナム語版」の贈呈式を行いました。草津市国際交流協会には「身近な法律ハンドブック」の「やさしい日本語版」「英語版」「スペイン語版」「ポルトガル語版」「ベトナム語版」が揃っています。ご希望の方は草津市国際交流協会の事務局にお尋ねください。(KIFA事務局長 浦 幹夫)





KIFA日本語教室 日本語ひろば「きずな」 10周年記念動画作成と上映会

KIFAの日本語教室、日本語ひろば「きずな」の開設10周年を記念して3部構成の動画を作成し、その上映会「きずなからバトンをつなぐ ～ここから始まる草津市の多文化共生～」を2020年11月28日(土)に開催しました。

プロジェクトのリーダーを務めさせていただきました。コロナ禍のため、チーム活動はオンラインで、半年間毎週2～3時間に及ぶ打ち合わせを重ねました。直接会えない中でもチームの絆を強め、周りの方のサポートを得ながら完成させることができました。この動画が「きずな」の発展の一助となることを心より願っています。

(KIFA会員 プロジェクトリーダー 間瀬 紗也子)

ビデオレターに使用する写真について、5名のサポートメンバー(写真チーム)に協力いただき、約1000枚の画像の中から、多くの人に登場してもらえるように、活動の様子が生き活きと伝わるようにと考えながら写真を選抜しました。共有ファイルでの作業、個人情報の取扱いなど戸惑う事もありましたが、「きずな」の活動を振り返り未来を想う、すばらしい機会になりました。

(KIFA会員 プロジェクトメンバー 檜川 久美子)

私の役割は、動画のハイライトである第2部ビデオレターと第3部のコメ

ントを生徒にもらうための連絡係でした。SNSを駆使し、中にはオンラインで直接質問しながら行いました。彼らの多くは、母国で指導的立場になっており、忙しい中KIFAに喜んで協力してくれました。彼らにとっては「きずな」は大切な思い出の家、世界中から愛溢れるメッセージという姿で私たちのもとに里帰りしてくれました。「きずなは1つの大きな家族」を実感！その一員としてこのプロジェクトに関われたことに感謝しています。

(KIFA副会長 プロジェクトメンバー 中西 まり子)





オンラインでシナリオを考え、世界中からメッセージやムービーを集めた後、動画編集で大活躍して下さったのが、スタッフの娘さんである鶴田万葉さんでした。

プロジェクトメンバーのイメージや、世界から集まったあらゆる想いのこもった言葉を、三つの動画にまとめていただきました。

特に、動画発表直前には寝食を削ってリーダーと確認を重ね、仕上げていただきました。これから新しく関わる生徒さんや、ボランティアスタッフにつながる作品ができ、感謝申し上げます。

(KIFA理事 プロジェクトメンバー 楠居 里奈)

オンラインで進めてきたプロジェクト故に、最後は皆でリアルに集まって完成を祝いたい、「きずな」卒業生のメッセージを多くの人に届けたい!と、11月28日、市担当課の協力で、お披露目をリアル開催しました。動画から流れてくる外国人達の、草津で地域の一員として暮らせたことへの感謝の言葉に参加者一同心を打たれ、ワークショップでは多文化共生社会の実現に向けて活発な意見やアイデアを沢山いただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

(KIFA多文化共生部会部会長
プロジェクトメンバー 鶴田 真理子)

今回、市職員(まちづくり協働課)として、当該事業に参加させていただきました。外国人住民にとって日本で生活する上で欠かせない日本語教育や文化交流などの様々な「きずな」の取組を通じ、母国に帰っても草津市に思いを馳せていただけている卒業生の温かい想いが、ビデオレターから伝わってきました。

今回の記念事業は、コロナ禍だからこそ、関係する皆さんが思いを一つにオンライン会議などによる新しい形式で準備を進めてこられ、成功をおさめられたものと思っています。新型コロナウイルス感染症が落ち着き、

アフターコロナの世界では、さらなる多

文化共生社会が到来する未

来を踏まえ、日本語教

育をはじめとした

日本語ひろば「き

ずな」の役割は

益々高まってい

くと思います。

私もまだまだ勉強不足ですがもっと頑張っていきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いします。

(草津市役所 まちづくり協働課 中司 智佳)

私は2015年10月にKIFAの日本語ひろば「きずな」に参加し始めました、現在はまだ5年間経ちました。最初の時は、ひとり好きな子と会えるため参加していましたが、今はもうほぼ生活の一環となって自ら通っています。「きずな」への参加をきっかけとして、世界各地からの人々や色々な面白い事と出会いました。今日は「きずな」10周年の上映会で記念動画を拝見する時、凄く沢山の記憶が一つ一つ蘇っているような気がしました。自分は「きずな」に長く在籍したので、動画の中に出た多くの人々と出会った事があります。動画で皆の顔やメッセージを見て、その時の皆の面影、そして一緒に過ごした「きずな」での時間を覚えてきました。自分にとってあれは全部宝石のようにキラキラ輝いている大切な記憶です。現在は世界のあちこちに行ってバラバラになっていたとしても、皆はきっと、同じような気持ちを持っているだろう。今年にはコロナが始まったばかりの時、日本から中国へ寄贈したマスクの箱に書いている簡単な二つの漢文が中国で凄く大きな話題になっていた。あれは「山川異域、風月同天」でした。実は、その出典の後ろにまた二つの文が付いている、「寄諸仏子、共結来縁」です。現代の話だと、「居場所の風景は異なったとしても、同じ美しい物事を感じられている、この気持ちを皆にお送り、きずなのつながりになりたい」である。草津市にある日本語ひろば「きずな」は、「きずな」にいた皆にとってそのようなモニュメントでしょう。その名の通り、皆の大切な記憶の場所として、皆の「きずな」になったのだろう。

(立命館大学情報理工研究科
後期博士課程3回生 単 駿傑)

QRコードを読み取って、10周年記念動画「きずなからバトンをつなぐ」3部構成をご覧ください。



第1部

「歴史 ～きずなのはじまりと歴史～」

第2部

「世界からの便り～卒業生の活躍～」



第3部

「未来へ～きずなからあなたへ～」





近鉄草津店での **縁活** イベント

草津おみやげラボ、循環型社会研究所えこら、そしてKIFAが協力して、近鉄草津店での「縁活」イベントに参加しました。外国人留学生にもお手伝いをお願いして、バードコール作りや廃油を使った国旗の色のキャンドル作成等を行いました。



10月18日近鉄百貨店草津店での初めてのエンカツ！（縁活）イベントが開催されました。草津おみやげラボはKIFAと一緒にマチとヒトがつながるご縁を生むこのイベントを行いました。地域と外国人の交流の場を増やしたい！とマチの魅力を集めるまめバスすごろくと、草津の木をつかってネジをすりあわせて鳥の鳴き声ができる道具であるバードコールづくり、えこら協力のエコキャンドルづくりをしました。ミャンマーやエジプト出身の留学生たちにビルマ語やアラビア語などの言葉を教えてもらって自分の名前を書き込み、このコラボでしかできないオリジナルなバードコールと思い出を、60組の参加者と共に作りました！

自分の名前を外国の言葉で知ることとモノづくりを同時に楽しむことで、外国をととても身近なものに感じることができ、とてもいい経験になり、本当にありがとうございました！

（草津おみやげラボ代表 大塚 佐緒里）



Thanks to KIFA, I could participate in two activities of Kintetsu event last October. I, by myself, could weave a small blanket with Japanese weaving machine for the very first time and introduce our Myanmar calligraphy in the Bird Call activity by transforming the names of Japanese children into Myanmar characters/ alphabets. It was such a successful cultural event for all and a joyful activity not only for children but also for us to see their names in Myanmar calligraphy.

（立命館大学経済研究科 ミャンマー出身 Hnin Yee Aung）

出前
講座

ロクハ荘 「秋のアウトドアクッキング」



ロクハ荘主催のクッキングイベントに、KIFAの出前講座としてエジプト出身の方とインド出身の方を派遣して、コシャリ（エジプト料理）とタンドールチキン（インド料理）を紹介しました。

10月11日、秋晴れのロクハ公園でロクハ荘主催、KIFAとJA草津協力のアウトドアクッキングが行われました。

私は家族で参加しました。我が子は未就学児でしたが薪割りをしたり、バームクーヘンの生地を巻きつけたり、自然素材で遊んだり、野外活動ならではの遊びを楽しんでいました。料理もとても美味しかったです。特にエジプトの「クシャリ」というご飯の上にパスタを盛るという料理は初めてでしたが、子どもも気に入り、家庭でもアレンジして作っています。食後にけん玉協会の子どもたちがけん玉の技を披露してくれました。留学生の方が、「日本の遊びは集中力もつくし、すばらしい。自分の国では、デジタルなゲームが主流だから流行らせたい。子どもたちがこんな野外活動する機会もあんまりないわ…。」と言っていたのが印象的でした。何気ない日本の文化の素晴らしさを再確認できた瞬間でもありました。幼い子どもから年配の方まで、色々な世代での国際交流をこれからも楽しんでいきたいです。

(KIFAやさしい日本語サロン 池澤 絵里子)



やさしい日本語 サロンでの活動

定例のやさしい日本語サロンとは別に、COGコンテストへの応募や、「えふえむ草津」のラジオ出演、そして、やさしい日本語講座の開催など多くの事業を行いました。



最近の活動内容



企画リーダー会発足後のやさしい日本語サロンの活動について、今年1月に、「えふえむ草津」のパーソ

ナリティの高橋さんにお招きいただき、リーダー会メンバーで出演しました。やさしい日本語サロンとは何か、企画リーダー会にどんな人がいるか、そして、サロンの今までの活動とこれからの活動の話をしました。

同じ1月に、やさしい日本語サロンで初めて「やさしい日本語講座」を実施しました。参加者の日本人・外国人ともに、やさしい日本語とは何か、できたきっかけや、必要性を学んだ上で、一緒にワークシートに取り組みました。この日は京都新聞の取材もあり、後日、記事として取り上げられました。

また、1月～3月と3ヶ月にわたり、草津未来研究所UDCBKとの共催であるオンライン事業の中で、サロンに関わっている人たちが順次インタビューを受けています。さらに、コロナ禍で起きた差別をなくす運動のシンボルである「シトラスリボン」のブローチを作るイベントなど、その時期に合った企画をこれからも考えながら、活動していきたいと思っています。



(KIFA会員やさしい日本語サロン企画リーダー会
エムシャムラット・オラバン)

COG（チャレンジオープンガバナンス）に挑戦



昨年の秋にやさしい日本語サロンの企画リーダー会が発足しました。東京大学主催の行政の課題を市民が解決するアイデアを提案する

COG(チャレンジオープンガバナンス)というコンテストに応募しました。

このコンテストには、リーダー会メンバー4名、副会長の中西さん、地元の大学生、まちづくり協働課、未来研究所UDCBKの総勢13名で取り組みました。提案アイデアは、多文化共生時代の新しい人財バンク

「シグナル」です。市民と行政がそれぞれの強みを活かして、多様で複雑なニーズに対応できることを目指しています。国籍に関係なく、市民各々が持ち味を活かした活躍ができる仕組みづくりを考えました。

慣れない書類づくりや表作成、情報収集に苦心しました。コロナ禍で対面のミーティングが思うようにできず、オンラインやSNSを使って何度もコミュニケーションを取り合い、それぞれが得意な分野で応募用紙の作成を分担しました。その結果、セミファイナリストに選ばれプレゼンする機会を得ました。各方面のみなさまのご協力に感謝申し上げます。この貴重な経験を今後のサロンの運営にも役立てていきたいと思っています。

(KIFA会員やさしい日本語サロン企画リーダー会
内山 礼子)

JICA帰国隊員報告会 いろいろな国で活躍する日本人！

マーシャル諸島
共和国 編

国際理解部会恒例のJICA帰国隊員報告会、今年度はJICAシニア海外ボランティアとして2年間マーシャル諸島で活動された金沢正文氏をお招きして、現地の地理や人の暮らし、そして廃棄物処理問題などについてお話をしていただきました。



マーシャルからのメッセージ

JICAの報告会はどんなものだろう？という好奇心から今回の報告会に参加しました。金沢さんのマーシャル愛に満ちたお話は、楽しく分かりやすく、テレビ番組の課外授業を見ているかのように、家族みなで見入ってしまいました。名前しか知らなかったマーシャルの自然や歴史。学校では教えてもらうことのなかった生きた教育に、感動の連続でした。一番の衝撃は、環礁のつくる国土の姿で、説明と映像を見て、こんな理想郷が、世界にはあるのだと知れたことです。また、自然と共生するマーシャルの人のあたたかな生き方にも、かつての日本が持っていた大事なものを思い返させてくれるかのように感じました。そして何より、シニアでJICAを志された金沢さんに、ただただ敬服しました。マーシャルの未来を考え、マーシャルの人とともに、新たなシステムをつくり、残していく。指導者でなくアドバイザーとして、という言葉にも、マーシャルの人とのあたたかな絆と信頼を感じました。また、ラーメンの食べ方や民芸品など、日本文化との深いつながりも紹介くださり、初めてのマーシャルに親近感を感じさせてもらえました。こうした虹のかけ橋(ヤッコエ)が、国際理解の第一歩なのだと、あらためて感じました。冒頭の先輩の話から始まった金沢さんのお話。この先、後輩や次世代、そして現地の人へと、受け継がれていくそのバトン。金沢さん自身が伝えたいと言われ

ていたバトン走者のお話を、終始感じさせてもらえる、まさに生きた授業を受けさせてもらえました。わが家の子どもたちにとっても、本当に貴重な経験となりました。マーシャルからのすてきなメッセージをありがとうございました(コモールタタ)。

(報告会参加者 夢森 香仁)



コロナ禍の中で 過ごした1年間

2017年、草津市の姉妹都市「米国ミシガン州ポンティアック市」から11名の中学生大使が草津市を訪問し、ホームステイをしながら市内の中学校に登校して日本の生活を体験しました。現在は高校2年生になった彼らですが、昨年3月からすべての授業がオンライン授業となっており、登校することがなく1年が過ぎたそうです。そんな彼らの、コロナ禍の中で過ごした1年間についての作文です。

January 19, 2021
Day by day

Painting. If I could explain 2020 for me in one painting there wouldn't be a main focus or highlight of the art. There were so many things that happened this year that it is not one but multiple hardships that we have all faced throughout the pandemic. As of right now, Michigan has a total of 584K COVID-19 cases. I haven't been able to go to school since March and had to adjust to school being online.



At first, when the governor said to stay home I was thinking, “It’s only for a couple of weeks, it will be okay” and then April passed and soon before I realized it was August. By early October, I realized that I had been struggling a lot with my depression. I would stay in bed and forget to eat, take frequent naps, and spend hours on my phone. Once I spoke to my mom about how I felt like, I was drowning in my emotions and thoughts, she suggested that I start talking to my therapist more regularly. My therapist suggested that I should develop healthy coping skills for times when I didn't feel the greatest. It took a tremendous amount of time and effort to pull myself out of the hole that I was stuck in. The thing that helped me develop a better and healthier mindset was taking time for myself and doing something I loved, which was painting, mixing cd's, reading, and crocheting.

COVID-19 affected me and many others in so many ways but in the end, I am grateful to have made it through the year. There will always be a tomorrow and new opportunities to seize, it is not what we have, it is what we know and learn that help us seize that “tomorrow”.

一日いちにち

絵。もし、2020年という年を絵で表現するならば、私はその絵を何か一つのものに焦点を当てて描くことはできないと思います。なぜなら、多くの人にとって、あまりにもたくさんのことが起こり、さまざまな困難に直面する年だったからです。現在、ミシガン州には584,000人の感染者がいます。そして私たちは、3月からずっと学校に行くことができず、オンライン授業をうけています。

州知事がステイホームを訴えた当初は、「どうせ2~3週間くらいのことです、すぐに普通の生活に戻るだろう」と思って

いました。ところがあつという間に4月が終わり、気が付けば8月になっていました。

10月の初めになると、「ベッドから出たくない」、「食欲が出ない」、「昼寝ばかり」、「何時間も電話に時間を使う」などのうつ症状が自分に出ていることに気がきました。母に相談して心理療法に通うことになり、心理療法士からは、気分がすぐれないときの対処法を身につけるようにと指導されました。

うつ状態の暗い穴から抜け出すまでに、長い時間と大きな労力が必要でしたが、明るく健康的な心持ちを取り戻すのに

役立ったことは、自分自身のために時間を使うこと、そして大好きなこと（絵を描くこと、CDのミキシング、読書、かぎ針あみ）をすることでした。

新型コロナウイルスは、いろいろな意味で私たちに影響を与えました。でも、何とか1年をやり過ごすことができたことに感謝しています。私たちには常に明日と新しいチャンスがあります。そして、その「明日」を手に入れるために必要なことは、物ではなく私たちの知識や学びが続いていくことなのだと思います。

(ITA高校2年
Jhahsani Campoverde)

January 19, 2021 COVID-19 Pandemic

COVID-19 has definitely impacted our lives. As we got closer to the school year in September 2020, I didn't expect us to go back to school in person. Unfortunately, the COVID-19 cases in Michigan were still high. There was doubt and uncertainty in these times.

When we started online classes I was looking forward to establishing a routine. It was going to be a fresh start and a step-forward to a normal life. When we first started school, it was very stressful to manage my work and my siblings. My siblings are all younger than me so I had to help them out with their assignments, how to navigate the computer, and adjust to our new way of learning.

One problem that we faced was having internet connection issues. Our Wi-Fi wasn't able to handle four Chromebooks being used at the same time. As we continue to learn we have got the hang of it and know what to expect of school.

When the winter is approaching, days start to get colder and shorter. I began to procrastinate more on my assignment. I spend a lot of time worrying about how many things I need to finish rather than completing them. It felt like I was living the same day over and over again. I had very little motivation and lack of energy. In the wintertime, we tend to stay indoors more and with the pandemic going on, places, where we could go, were limited. We went outside whenever we

got the chance to and tried to be active. Letting the sun in to give us our vitamin D, sleep at least 8 hours, and try to eat healthily. We are trying our best to manage the situation and finding different ways to cope with the pandemic.

Overall, our experience was both good and bad. We had some days that went better than others. Luckily, we never lacked food and we had a roof over our heads. There was some time where my dad wasn't working at the very beginning of the pandemic but slowly but surely, he started to work again. There has been a lot of support from families and friends that helped us out in these tough times. We have explored every inch of our home and found new ways to find comfort in it. During quarantine, if you didn't have a painting project you were doing it wrong. Our family ended up painting our entire living room, kitchen, and some of the rooms to keep us busy.

The biggest lesson that we learned in 2020 was that materialist things can be gone from one day to another. Tomorrow isn't promised, so we must take advantage of what we have. To always be thankful and be aware of how blessed we truly are. I hope everyone is staying safe and well. Remember to wash your hands, stay 6 feet apart, and wear a mask.



新型コロナウイルスの 感染拡大

私たちの生活は、COVID-19(新型コロナウイルス)により大打撃を受けました。9月の新学期が始まる時にも、学校にはまだ戻れないだろうなと思っていました。その頃のミシガン州では、毎日の感染者数が非常に多く、世の中がどうなっていくのかよく分からなかったからです。

オンライン授業が始まった当初、私は規則的な生活を送ろうと思っていました。新しい生活のスタートであり、日常生活へ戻るための第一歩でもあったからです。でも、実際に学校が始まると、自分の勉強と兄弟たちの世話をするのは思っていたより大変でした。私の兄弟はみんな私より小さいので、宿題を手伝ったり、コンピューターの使い方を教えたりしなければならず、そのうえ新しい学びの様式に慣れるということも必要でした。

手始めに、インターネット接続の問題がおこりました。我が家のWi-Fiの強度が、ノートパソコン4台を同時に使うことには対応

できなかったのです。でも、徐々にコツをつかみ、オンラインでの学校生活がどんなものなのかもわかっていきました。

冬が近づいてくると、日々気温が下がり、日照時間も短くなってきました。宿題をだんだんとほったらかしにするようになり、「はやく宿題を済ませないと」というよりは、「あといくつ宿題が残っているのか」を心配するようになりました。そして毎日毎日が、同じ日の連続のような感じで、元気もやる気もなくなっていきました。そもそも冬になると外出は減りがちですが、コロナの大流行のために行ける場所も限られていました。そこで、機会があれば外に出るようにして、できるだけ活動的に行動しようと心がけました。体内にビタミンDが生成されるよう外で太陽を浴びたり、夜は少なくとも8時間の睡眠をとったり、体に良いものを食べるようにしました。私たちは状況をよくするために精一杯のことをし、コロナに対抗するためにどうしたらよいのかを模索してきました。

今回のコロナ禍では、良いことと悪いことの両方がありました。幸い、私たちは食べ物に困ることもありませんでしたし、屋根の下で

眠ることもできましたが、食べ物にも困るような状況になってしまった方もいました。コロナウイルス大流行が始まってすぐのころは、父の仕事が激減してしまったことがありましたが、親せきや友人が支援してくれましたし、今では父の仕事も少しずつ回復してきました。運動不足解消のために家の中で歩き回ったりして、外に出なくても快適に過ごせるようにもなりました。

自粛期間中、私たちはリビングルームや台所などいくつかの部屋の壁を自分たちで塗り替えました。そうやって意識的に忙しく過ごしたりもしました。

2020年に私たちが学んだ一番大事なことは、物質的なものというのは消えてなくなってしまうことがあるということです。明日の保証はありません。今あるものを最大限有効活用し、日々感謝をして、どれほど自分が恵まれているのかを知ることが大切だと思いました。

みなさん、どうぞご無事で健康でありますように。手を洗って、6フィートの距離を取り、そしてマスクの着用もお忘れなく。

(ITA高校2年

Cynthia Solis-Davila)

January 19, 2021 How COVID-19 Changed My Life

COVID-19 has been an issue for America since March of 2020. For many people, it has caused terrible pain because of job losses, food shortages, and deaths. For me though, it hasn't really been hard.

I enjoy not having to wake up early and go to school, staying at home all day, and just doing nothing overall. Sometimes, it does get boring and frustrating, but I really enjoyed quarantine. Although I do love what quarantine did for me, I know that there are many people out there who are struggling with so many things, and I wish that they had it as easy as I did. Doing school online is pretty easy and simple. I know how all of my teachers are work wise and I know my way around a computer. I also do not have to wake up extra early, because I do not have to go anywhere. I really like not having to show my face to people, because they can be very rude and judgmental. I also like being able to do my work in the comfort of my own bed while wearing my pajamas. It is really nice to just be able to stay home and do school work.

One disadvantage of online school is that, although I do not struggle with it, my brothers do. They have a hard time concentrating and paying attention. This causes their grades to drop and struggle even more. Although it would be better for them to go to school, it is not safe enough for them, which is a BIG issue.

I LOVE staying at home. Being able to watch TV all day on my bed is AMAZING. It is so relaxing and fun. Although it is fun, sometimes I get bored and want to go out. During this quarantine, I have mostly spent it at home, with my cousin, and with my siblings. When I do go out, it is mainly to stores like the grocery store, the Dollar Store, or Walmart. I have only gone to places like the mall once or twice over the past year. I did

spend a lot of time with my cousin, who lives about five minutes away. Sometimes I do like to go out, even if it is just at a family member's house, but overall, I enjoy staying at home.



During this pandemic, my family and I have learned to adjust to this new way of life. We always have masks lying around just in case. We have some in the house and in the car, because you never know when you will need a mask. We also have hand sanitizer and alcohol spray so when we get back into the car from the store, we can remove the germs. We also have tons of cleaning supplies that contain Clorox. During the beginning of quarantine, my grandmother would spray Lysol on any packages or mail she would receive. Because my grandparents are older and have tons of health issues, we have to be extra cautious. At first, we were always scared of catching the virus, because if we got sick, then the younger kids and grandparents would get sick. Now, we are still cautious, but not as scared.

This quarantine has been really great for me. I have done and learned so much. I have had fun, I have been able to do things I could not do before, like stay up all night and watch movies, and I have changed in so many ways. I cannot believe it has been almost 1 year since quarantine started.

I cannot wait to actually be able to walk around without a mask or hang out with friends. Although I love online school, I want to spend my last year of high school at school with my friends and saying goodbye to all of the amazing teachers I have had.

This past year has been SUPER different and scary for everyone. I hope that soon, we will be able to go back to some type or "normal" again.

コロナ禍で変わった私の生活

アメリカでは、2020年3月からCOVID-19(新型コロナウイルス)が猛威を振っています。多くの人が職を失い、食べ物が足りなくなったり、死に直面したりしました。また、暮らしたり仕事などの面でも、困難に直面した人も大勢いました。でも、私にとっては、つらいことはそんなにありませんでした。

学校がないので早く起きなくていいし、一日中家にいてほとんど何もなくてもよかったです。退屈で、もやもやすることもありました。私にとっての自粛生活はそんなに悪いものではありませんでした。もちろん、様々な困難に直面している人がたくさんいるということも知っていたので、その人の困難がなくなればいいのにも思っていました。

オンライン授業に関しては、パソコンの扱い方など一通り分かっていたのですぐに慣れました。学校では人の容姿に対して何かと失礼なことや批判的なことを言ったりする人がいますが、オンライン授業だと、誰かと顔を合わせる必要がないのでそんなことを心配する必要もありません。それに、パジャマを着たま自分の部屋のベッドで勉強することだってできるのです。オンライン授業の欠点は、私の兄のようにオン

ライン授業に集中できないという人があることです。私は大丈夫ですが、集中できない人にとってオンライン授業はとてつらく、また、そのせいで単位を落としてしまうということもあるのです。そのような人たちにとっては、これはとても大きな問題です。

私はずっと家にいるのが大好きなので、一日中ベッドに寝そべりながら、テレビを見てくつろいで過ごすことができるなんて最高でした。でも、時には退屈になって外に出たくなることもありました。自粛期間中は兄弟やいとこと一緒に、ほぼずっと家の中にいました。外出と言えばスーパーや、1ドル均一ショップくらいでした。この1年で、ショッピングセンターには1~2回程度くらいしか行っていません。たまには、近所の親せきの家に行くこともありましたが、うちの近所に暮らすいとこと家の中で多くの時間をいっしょに過ごしました。

コロナウイルスの大流行で、私たちは新しい生活様式に慣れようとしてきました。必要があればすぐにマスクを着用できるように、車や家にマスクと消毒液を常備しています。買い物に行った時も、車に乗ったらすぐに手の消毒をしています。そして、家には漂白剤を含んだ掃除用洗剤もたくさんあります。自粛生活が始まったばかりのころ、おばあちゃんは家に届いた郵便物

や荷物にも全て消毒スプレーをかけていました。

おじいちゃんおばあちゃんは高齢で、いろいろな持病もあるので余計に気を付けていました。最初のころは、感染したらどうしようと恐怖を感じていました。なぜなら、もし私が感染したら、おじいちゃんおばあちゃんや小さいとこたちにうつしてしまうかもしれないと思ったからです。でも今は、気を付けてはいますが恐怖までは感じていません。

自粛期間は、私にとっては楽しい時間だったので、あっという間に約1年が過ぎてしまいました。夜遅くまで映画を見て過ごすなど、今までできなかったことがいろいろできたからです。

とはいえ、早く、マスクをつけずに歩いたり、友達と遊んだりできるようになってほしいです。オンライン授業もいいですが、高校生活最後の年は友達と学校で過ごし、卒業するときには、お世話になった先生たちにお別れとお礼を会って直接言いたいです。

この1年の間に、世界は驚くほど変わり、私たちに恐怖を与えました。また、以前のような暮らしに一日も早く戻るよう願っています。

(ITA高校2年
Linisbeth Cotto-Maldonado)

2021年度 草津市国際交流協会法人会員一覧

2021年4月1日現在

社会福祉法人良友会あゆみ保育園	525-0023	草津市平井2丁目13-3	077-563-8989
伊藤内科クリニック	525-0037	草津市西大路町4-32	077-563-3550
株式会社井上工業	525-0002	草津市芦浦町313-1	077-568-2288
梅山税理士法人・梅山公認会計士事務所	525-0059	草津市野路1丁目8-18	077-569-1714
エールコーポレーション株式会社	525-0016	草津市北大萱町556番地-2	077-568-3190
株式会社関西みらい銀行草津支店	525-0032	草津市大路2丁目9番1号	077-562-2158
関西エムアイ株式会社	520-3024	栗東市小柿3丁目2番10号	077-552-1185
株式会社近商物産	525-0037	草津市西大路町11-18	077-563-3161
クサツエストピアホテル	525-0033	草津市西大路町4-32	077-566-3333
草津商工会議所	525-0032	草津市大路2丁目11-51	077-564-5201
草津第一ホテル	525-0031	草津市若竹町5-5	077-562-2411
草津電機株式会社	525-8501	草津市東草津2丁目3番38号	077-563-5111
草津ライオンズクラブ	525-0032	草津市大路2丁目11-51	077-561-4144
草津ロータリークラブ	525-0037	草津市西大路4-2 クサツエストピアホテル内	077-564-9111
有限会社三王都市開発	525-0034	草津市草津3丁目14-45	077-566-3017
株式会社滋賀銀行草津支店	525-0032	草津市大路1-4-26	077-562-3601
株式会社滋賀レイクスターズ	525-0801	大津市におの浜4-7-5 オプテックスビル3F	077-527-6419
株式会社新和	525-0066	草津市矢橋町2098	077-562-8260
株式会社スマイ印刷	520-3014	栗東市川辺568-2	077-552-1045
株式会社瀬川元・瓢仙堂	525-0053	草津市矢倉2丁目2-1	077-562-2435
大五産業株式会社	525-0031	草津市若竹町9-24	077-562-9161
大正電機製造株式会社	525-0072	草津市笠山5丁目1-59	077-562-8131
株式会社中島電業所	525-0022	草津市川原町132-4	077-562-0837
日本観光開発株式会社	525-0032	草津市大路3丁目5-64	077-562-1049
株式会社日本旅行草津支店	525-0032	草津市大路1丁目10-1	077-562-6001
有限会社びわこ経営教育研究所	525-0029	草津市下笠町4209-1	077-568-0714
株式会社プロフリー	520-3014	栗東市川辺104-3	077-598-6522
ホテルポストプラザ草津	525-0037	草津市西大路町1-27	077-561-3311
守建設株式会社	525-0054	草津市東矢倉3丁目41-18	077-562-3244
株式会社 Mi-O スポーツ	525-0031	草津市若竹8-38	077-564-6646
村地総合木材株式会社	520-2524	蒲生郡竜王町綾戸328-3	0748-57-0615
株式会社ヤマキ	525-0041	草津市青地町200-10	077-564-0123
立命館大学びわこ・くさつキャンパス	525-8577	草津市野路東1丁目1-1	077-561-3946

募集 デイビッド先生のインラクティブ・イングリッシュ

前期：全10回

イギリス出身のデイビッド先生の英会話クラスを開催します。コースはベーシックとチャレンジの2種類。質問がしやすいリラックスした雰囲気の教室です。参加をご希望の方は、KIFA事務局までご連絡ください。※諸事情により、会場等に変更の可能性があります。

- 日 時：2021年5月10日から7月12日の期間中、毎週月曜日開催
【ベーシック】9:15～10:15 (60分) 【チャレンジ】10:20～11:35 (75分)
- 定 員：各コース12名(先着順)
- 場 所：市民総合交流センター「キラリエ」(草津市大路2丁目1-35)
- 参加費(10回分)：【ベーシック】KIFA会員 6,500円、一般 9,500円
【チャレンジ】KIFA会員 9,000円、一般 12,000円
- 申込開始：2021年4月5日(月)から ※会員の方は4月1日(木)から
- お問合せ・お申込：KIFA事務局 窓口・電話・メールにて



案内 2021年度 草津市国際交流協会総会

2021年度草津市国際交流協会総会を以下の通り予定しております。但し、コロナ対策の意味で密をさけるために、恒例の講演会は中止します。

- 日 時：2021年4月10日(土) 10:00～11:30
- 会 場：草津市役所8階大会議室



お願い 年会費納入のお願い

当協会の2021年度の活動を開始するにあたり、賛助会員・正会員のみなさまの継続的なお力添えをお願いいたく存じます。つきましては、2021年度分の年会費を下記のとおりご納入くださいますようお願い申し上げます。

- 年会費：【個人・団体等】2,000円/1口 【法人等】10,000円/1口
※会報誌「KIFA スクウェア 131号 P11」と当協会HPに法人会員様一覧を掲載しています。
※ご希望の口数のお支払いをお願いいたします。
※当協会の規定により、年会費を2年以上滞納した場合は自動退会となります。
- 納入期日：2021年5月28日(金)
- 納入方法：当協会事務局窓口にて直接ご納入いただくか、下記のいずれかの銀行口座へお振込みください。

口座名	草津市国際交流協会 会長 南 啓次郎	
口座番号	滋賀銀行 草津市役所出張所	普通口座 012384
	草津市農業協同組合 草津支店	普通口座 0585996

- ※滋賀銀行でのお振込みの手数料のご負担をお願いいたします。
- ※草津市農業協同組合の窓口にて、お支払いいただきますと振込手数料がかかりません。
- ※2021年度より当協会指定の振込用紙の利用は中止となりました。

